

# 第39回奈良県スポーツ少年団剣道親善競技大会 開催要項

(全国スポーツ少年団剣道交流大会・近畿ブロックスポーツ少年団剣道交流大会 選考会)

1. 期 日 令和6年11月4日(月) 受 付 9:00  
監督会議 9:20~  
開会式 10:00

2. 会 場 ロート奈良武道場

## 3. 試合方法および競技規則

### (1) 団体戦(小学生男女)

- ・全国スポーツ少年団剣道交流大会予選の部<市町村対抗>
- ・近畿ブロックスポーツ少年団剣道交流大会予選の部<単位団体対抗>
  - ア. 試合は、トーナメント形式、3本勝負で行う。  
試合時間は2分とし、試合時間内に勝負が決しないときは引き分けとする。
  - イ. 敗者数・取得本数が同数の場合は代表者戦(最後に引き分けた選手)とし、1本勝負で行う。  
試合時間は2分とし、試合時間内に勝負が決しないときは延長戦を行い勝負が決するまで行う。ただし延長戦は時間を区切らない。
  - ウ. チーム編成

区分	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	指導者
学年	4年生	5・6年生	5・6年生	5・6年生	5・6年生	有資格指導者
性別	男又は女	女子	男子	女子	男子	男又は女

- \*該当者のいない場合は、学年の下の者が上位の学年区分に出場してもよいが、小学生4年以上とする。ただし、男女の変更は不可。
- \*補欠はなしとする。
- \*5・6年生男子、女子に欠員が出来た場合は、大将、副将から選手を配置すること。
- \*選手の変更については、開会式までに届け出ること。

### (2) 個人戦(中学生男女)

- ・試合は、トーナメント形式、3本勝負で行う。
- ・試合時間は3分とし、試合時間内に勝負が決しないときは、延長戦を行い、勝負が決するまで行う。ただし、延長戦は時間を区切らない。

### (3) 競技規則詳細については全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則」に準じる。

## 4. 参加資格

- (1) 令和6年度スポーツ少年団登録団員であること。
- (2) スポーツ傷害保険に加入していること。
- (3) 参加可能枠

### 【団体戦】

- ・全国スポーツ少年団剣道交流大会予選の部(市町村対抗・小学生男女)  
.....各市町村1チーム
- ・近畿ブロックスポーツ少年団剣道交流大会予選の部(単位団対抗・小学生男女)  
.....各単位団1チーム

### 【個人戦】

- ・中学生男女  
.....各単位団5名以内

## 5. 申込方法

- ・別紙申込書により、市町村本部でとりまとめのうえ、令和6年10月4日（金）県本部必着のこと。
- ・WEB登録上で、団員の登録が確認できる画面を印刷し、添付のこと。

## 6. 注意事項

- (1) 団体戦の組み合わせについては、大会当日、監督会議にて行う。
- (2) 個人戦の組み合わせは、事前に大会役員において抽選を行い決定する。
- (3) 紅白の目印を必ず持参すること。
- (4) 団体戦に出場するチームは、下記様式でオーダー表を作成し持参すること。

	←	90 cm					→
↑	2 4 cm ↓	チ ー ム 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
		←15→					

## 7. その他

- ・大会開催中の負傷等については、主催者は応急処置のみ行う。
- ・指導者は指導者章、団員は団員章を必ずつけて大会に出場すること。
- ※同一活動種目（剣道）で重複登録している団員の参加は認めない。
- ※マスクの着用は、個人の判断に委ねる。（マスクを着用しない場合は、口のまわりを覆うフェイスシールドの着用をお願いします。）

全国・近畿ブロック交流大会参加については、下記のとおりとする。

- 近畿ブロック交流大会 日時：令和7年2月2日（日）  
会場：京都府 山城総合運動公園
- ・選考会の結果、団体5チーム・個人男子5名・個人女子5名が出場することができる。
  - ・なお、5名の審判員（5段以上で審判講習会受講済の者）を同行すること。

- 全国交流大会 日時：令和7年3月29日（土）～31日（月）  
会場：大分県 レジナック武道センター
- ・選考会の結果、指導者1名・団体1チーム（令和6年4月1日現在で小学校4年生から6年生である団員男女計5名）・個人男子（中学生）1名・個人女子（中学生）1名が出場することができる。
  - ・指導者は1名とし、令和6年度スポーツ少年団に理念を学んだ指導者として登録しており、集団指導の能力に優れ、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。